

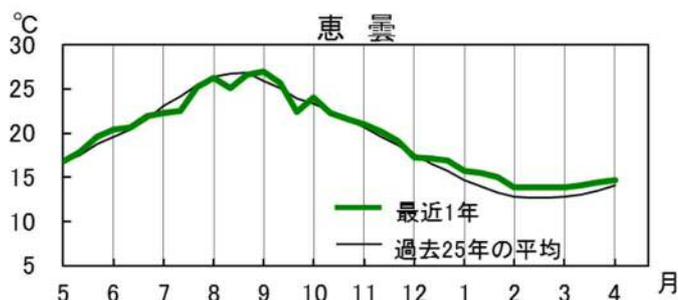
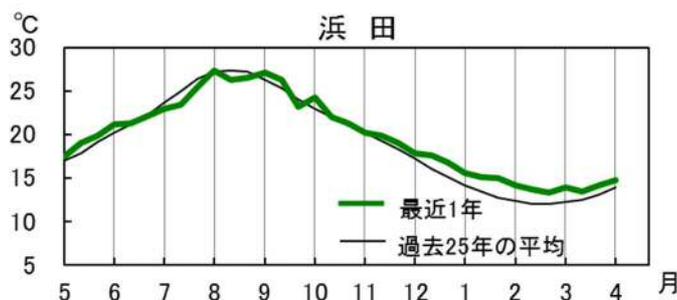


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3月の海況》



3月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	はなはだ高め	13.9℃	+1.2℃	かなり高め	14.2℃	+1.1℃
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.6トンで平年を大きく下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は43.6トンで平年の1割、マアジは20.8トンで平年の1割、マイワシは17.6トンで平年の5割でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は122トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは10,459トンで平年の5倍、マアジは215トンで平年の1割未満でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は90kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は115kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではスルメイカ、キダイ、ソウハチ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は17.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の2.6倍、キダイは平年の1.1倍、ソウハチは平年の1.7倍でした。その他、アナゴ・ハモ類は平年の2.0倍、アカムツは平年の1.2倍、エソ類は平年の1.5倍、マダイは平年の2.4倍、アンコウは平年の1.1倍の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は298トン、1統1航海当りの漁獲量は856kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の1.1倍、ソウハチは平年の9割、ヒレグロは平年の3割でした。その他、アンコウは平年の2.1倍、アカムツは平年の1.4倍、キダイは平年の1.6倍と好調、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍でしたが、ニギスは平年の3割の水揚げに留まりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は11.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の4.5倍でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は11.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の20.1倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は5.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の9割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は40kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ヒラマサは平年の3.3倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の1.3倍でした。

【令和2年3月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ、マイワシ	86トン	200%	14%	9.6トン	133%	28%	▲
	隠岐	マイワシ、マアジ	10,832トン	360%	128%	122トン	331%	136%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	0.9トン	2%	0%	90kg	22%	18%	▲
	西郷	スルメイカ	2トン	-	60%	115kg	-	160%	○
沖合 底びき網	浜田	スルメイカ、キダイ、ソウハチ	309トン	99%	108%	17.2トン	105%	121%	◎
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	298トン	153%	75%	856kg	122%	101%	○
定置網 (大型)	出雲	ブリ	106トン	173%	117%	11.8トン	173%	117%	○
	石見	ブリ	35トン	200%	134%	11.7トン	200%	134%	◎
	隠岐	スルメイカ	11トン	39%	33%	5.6トン	39%	42%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ	49トン	102%	75%	40kg	92%	95%	▲
	石見	ヒラマサ	32トン	154%	101%	28kg	109%	121%	◎
	隠岐	ブリ	16トン	140%	94%	27kg	134%	117%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ